

## (2) モデル自治会ワークショップ報告書

### 令和3年度 第1回大釜南自治会ワークショップのまとめ

- 日 時：令和3年8月20日（金） 19：30～21：00
- 参加者：24名
- 会 場：大釜地区コミュニティセンター
- 協 力：特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21

#### 1. 開催概要

第1回ワークショップでは、今後の「市民主体の地域づくり活動の方向を展望」するために、改めて地域を見直し、地域に対する参加者それぞれの思い、考えを共有し、確認するため話し合いを行いました。

#### ●第1回ワークショップでのテーマ

テーマ1	「自分たちの地域を知る」
------	--------------

#### 2. 各班の意見

今回、3班に分かれて、個人ワークを元に各グループで意見交換を行いました。その中で出された意見は以下となっています。共通項も多かったので、まとめて記載しています。

#### (テーマ1) 「自分たちの地域を知る」

好き、嫌い、地域資源は？ そもそもどんな地域？

項目	内容
誰かに説明するとしたらどんな地域か？	長所 ・交通の便がよい。整備されている。 （バス路線、IC 近い等、道路網） ・あらゆる面で発展している。 （新興住宅、区画整理等） ・自然災害が少ない。（地形がいいかな？） ・公園が計画的に整備されている。 ・観光地が近い。（移動30分圏内） ・都市ガス、水道等インフラが安い。 ・盛岡が近く、地域の立地が良い。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新興住宅地、アパートが増え、転入者（新規住民）が多い。</li> <li>・自治会内の人口の平均年齢が若い。 （子ども世帯が増えている。）</li> <li>・土日ジャンボ市他買い物場所、病院等生活に必要な施設が揃っている。</li> <li>・農業（米、野菜、果樹）が盛ん。</li> <li>・自然も有り、適度にインフラも整ってバランスが良い地域。</li> <li>・学校等も近くにある。子育てしやすい環境。</li> <li>・雫石川、岩手山、適度に農地もあり自然豊か。</li> <li>・（嫁いできたが）隣近所の人があっただかい人が多い。</li> <li>・助け合う仕組みがある。</li> </ul>
<p>誰かに説明するとしたらどんな地域か？</p>	<p>短所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人が残らない。 （進学、就職等で地域外へでていく。）</li> <li>・調整区域が多く、宅地が少ない。</li> <li>・新興住宅、アパート等住民と近隣の交流が少ない。 （地域による？）</li> <li>・集合住宅住民と接点がないわからない。</li> <li>・ちょっとした店、銀行等が近くにない。</li> <li>・（良くも悪くも）土地に執着。</li> <li>・（農業中心？）跡継ぎがない。</li> <li>・世代交流が少ない。</li> <li>・収入につながる事業（第一次産業、サービス業？）が少ない。</li> <li>・これって言うブランドがない。</li> <li>・土産や観光、キラキラが少ない。</li> <li>・企業・会社（働く場）が少ない。</li> </ul>
<p>なぜ、この地に住むの？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代々住んでいる。</li> <li>・生まれた時からここしか知らないので比較できない。</li> <li>・昔からの知り合いが多いので住みやすい。</li> <li>・家業が農業でそれを継いだから。</li> <li>・家を守るため。</li> <li>・バス路線が便利だから。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治安が良い。</li> <li>・環境（自然、生活）が良く、住みやすい。</li> </ul>
地域をどう思う？ （好き、嫌い、展望は？他）	<p>好きなどの肯定的な点数（5点、4点）が多かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理由はないが好き。</li> <li>・安全で住みやすいから。災害が少ない、災害に強い地域だと思う。</li> <li>・地域の繋がりは強い。（長年住んでいる住民を中心に）</li> <li>・資源として：伝統芸能や指定遺跡や八幡神社がある。 土日ジャンボ市は資源。（観光的にも?）</li> </ul> <p>これからの展望として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地、休耕田が多いので、集団営農の仕組みを取り入れたい。</li> <li>・若者が定住するような地域づくりを。</li> <li>・長期的ビジョンがないのでこれからつくる。(?)</li> <li>・雫石川河川敷等もっと活用できるようにしたい。</li> <li>・今の生活を高齢者になっても（例えば免許返納になっても）続けられるのか不安。</li> </ul>
これからの5年、 どのように地域に関わる？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の得意を生かして地域に関わり続けたい。（運動など。）</li> <li>・役員になる前は面倒だと思ったが、やってみるといろいろ勉強になる。今の楽しさを自分の周囲の人たちに伝えていく。</li> <li>・近所付き合いを息子につなぐ。（今は、関わりがほとんどないから。）</li> <li>・地域を知ること。</li> <li>・立場は変わっても、一住民として行事に参加したり関わりをもちたい。</li> </ul>
これからの5年、 どのように地域に関わる？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代交代の仕組み、引き継ぎの仕組みづくりをする。</li> <li>・地域の役（役員など）にちょっと関わっていた方が良い。</li> <li>・歴史や仕事を若い人に伝えていく。</li> <li>・正直、自分のことで精一杯。（関わるのは難しい。）</li> </ul>
今後お取り組み、 目指す姿は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に引っ越してきた人達との交流機会の創出。</li> <li>・地域の良さを周囲に発信していく。</li> <li>・若い人たちの意見を聴きたい。</li> <li>・若い人たちが戻りたくなる地域づくりをする。</li> </ul>

## 令和3年度 第2回大釜南自治会ワークショップのまとめ

- 日 時：令和3年9月17日（金） 19：30～21：00
- 参加者：16名
- 会 場：大釜地区コミュニティセンター
- 協 力：特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21

### 1. 開催概要

第2回ワークショップでは、今後の「市民主体の地域づくり活動の方向を展望」するために、改めて地域を見直し、地域に対する参加者それぞれの思い、考えを共有し、確認するため話し合いを行いました。

#### ●第2回ワークショップでのテーマ

テーマ1	「自分たちの地域の未来をデザインする」
------	---------------------

### 2. 各班の意見

今回、3班に分かれて、地域の目指す姿を思い描きながら、その実現に向けて取り組んでいくことを中心に各グループで意見交換を行いました。その中で出された意見は以下となっています。共通項も多かったので、まとめて記載しています。

#### （テーマ1）「自分たちの地域の未来をデザインする」

目指す姿は？ 課題は？ 何をする??

項目	内容
目指す姿 （テーマ）	『どなたでもスーパーボランティア～安全で安心、誰もが活躍する自治会』 『世代をこえてつながる笑顔あふれるまち』 『自然豊かで安心して子育てできるまち』
目指す姿の 実現に対する 課題は？	・子どもの居場所が足りない。 公園にはルールがあり、のびのび遊べない。 公園に東屋がなく、休憩できない。 スポーツできる場所が少ない。 川や水路の整備が進み、自然環境が減っている。 この地域ではないが：看護短大跡地の有効活用を検討したい。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 立地条件もよく、交通の便も良いが・・・。 バス路線は主要道路のみで、沿線住民以外は移動手段が少ない。 歩いて行ける場所に集まる空間があるといい。 買い物難民となる可能性あり-近くにスーパーがなく、車がないと大変。 病院、銀行等も遠く、徒歩圏内での生活が成立しにくい。 ⇒注文販売、移動販売があるといい。</li> <li>• 若い世代の参加が少ない。</li> </ul>
<p>目指す姿を 実現するために 何をする？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 若い世代へのアピール。 自治会勉強会、様々な広報活動。</li> <li>• 住民が参加しやすい雰囲気づくり。 笑顔でコミュニケーション、精神的なサポートを。</li> <li>• 住民の交流機会創出。 子供会と合同の行事開催、防災訓練など。</li> <li>• 集まる場・空間の提供。 独居高齢者等が日中に集まる場所。 移動販売の取り組み。 ⇒空き地などを提供できるのか？ ロコミで広めれば人が集まる。 オンライン活用した、リアル以外の集まる場の仕組みづくり。 自治会活動をもっと知ってもらうこと。</li> <li>• SNS の活用。</li> <li>• 自治会役員の役割が見える化。</li> </ul> <p>活動に対する理解促進のため、かんたんなマニュアルづくり。</p>

## 令和3年度 第3回大釜南自治会ワークショップのまとめ

- 日時：令和3年10月20日（水） 19：30～21：00
- 参加者：17名
- 会場：大釜地区コミュニティセンター
- 協力：特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21

### 1. 開催概要

第3回ワークショップでは、前回に引き続き、キャッチコピー（目指す姿のテーマ）に沿って、具体的にどう活動するのか、優先順位等も考えながら意見を出し合いました。

#### ●第3回ワークショップでのテーマ

テーマ1	「未来に向けた具体的な行動を！」
------	------------------

### 2. 各班の意見

今回も、3班に分かれて、地域の目指す姿を思い描きながら、その実現に向けて取り組んでいくことを中心に各グループで意見交換を行いました。その中で出された意見は以下となっています。共通項も多かったので、まとめて記載しています。

（テーマ1）「未来に向けた具体的な行動を！」

目指す姿は？ 課題は？ 何をする??

項目	内容
目指す姿 （テーマ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『どなたでもスーパーボランティア ～安全で安心、誰もが活躍する自治会』 テーマ：「安心安全」「誰もが活躍する自治会」</li> <li>●テーマ『健康でつながる』 『地域を知る、自治会を知ってもらう』</li> <li>●『夢が叶うまち大釜』 テーマ：「安心安全」「子育てしやすいまち」 「世代を越えてつながる」</li> </ul>
目指す姿の 実現に向けて どう活動を	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住民の参加促進、交流の場づくり               <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備、美化活動などへの企画や実施の工夫。</li> <li>⇒育成会との連携を深めるため意見交換の場を持つ。</li> </ul> </li> </ul>

<p>していくか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 除雪活動への中学生参加 ⇒地域活動への参加機会を提供する。＝地元愛を育む。</li> <li>• コミセン図書館の開館 ⇒住民から図書を提供してもらい、本を通じた交流を。</li> <li>• 広い世代の人が参加しやすい行事の企画・実施。 ⇒クラフト市・フリマ等、親子対象イベント、地域食等</li> <li>• 空き家の活用 ⇒コミセン以外で気軽に集まる場の確保。 活用に向け交流創出。</li> </ul>
<p>目指す姿を 実現するために 何をする？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自治会や地域を知るために <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子ども版ワークショップの開催 ⇒子ども自治会（？） 世代交流による「地域を知る（歴史）」を学ぶ。</li> <li>• ウォーキングコース設置で歩いて地域を知る ⇒健康向上もあわせて。</li> <li>• 自治会役員等の担い手探し ⇒仕事の見える化、引継書作成による事務軽減、規約等の見直し等。</li> <li>• 自治会行事の見直し ⇒何をやるかを決める、棚卸し作業を。</li> <li>• 若い世代が得意な役割をつくる ⇒SNS の活用等広報。 ⇒ニーズ調査やその後のコミュニケーション積極的に する。</li> </ul> </li> <li>●安心安全のまち <ul style="list-style-type: none"> <li>• きれいなまちは犯罪抑制につながる ⇒地域点検から活動アイデアづくりもいいかな？</li> <li>• 子どもたちへの〇〇教室（地域の中で学ぶ機会を） ⇒楽しく学ぶ機会づくり。 防災や交通安全など。</li> <li>• 夜間防犯パトロールの充実 ⇒拡大には協力住民が必要。 まちの安全確保の意識啓発と合わせて。 ボランティアというかサポーター的な役割での参加 も視野に入れる。</li> <li>• バス路線も含めた移動支援事業の検討を始めよう</li> </ul> </li> </ul>

## 令和3年度 第1回大沢自治会ワークショップのまとめ

- 日 時：令和3年10月6日（金） 19：30～21：00
- 参加者：23名
- 会 場：大沢集落センター
- 協 力：特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21

### 1. 開催概要

第1回ワークショップでは、今後の「市民主体の地域づくり活動の方向を展望」するために、改めて地域を見直し、地域に対する参加者それぞれの思い、考えを共有し、確認するため話し合いを行いました。

#### ●第1回ワークショップでのテーマ

テーマ1	「自分たちの地域を知る」
------	--------------

### 2. 各班の意見

今回、3班に分かれて、個人ワークを元に各グループで意見交換を行いました。その中で出された意見は以下となっています。共通項も多かったので、まとめて記載しています。

#### （テーマ1）「自分たちの地域を知る」

好き、嫌い、地域資源は？そもそもどんな地域？

項目	内容
大沢はどんな地域？	長所 <ul style="list-style-type: none"><li>・交通の便がよい。整備されている。 （バス路線、IC近い等、道路網）</li><li>・3世代同居が多い。</li><li>・人付き合いがしやすい。</li><li>・自然豊かで閑静、暮らしやすい。</li><li>・子どもが外で遊ぶことができる。</li><li>・地域のまとまりがある、協調性がある。</li><li>・「結っこ」声掛けが多い。</li><li>・行事への女性の参加が多い。</li><li>・産婦人科以外、医療機関は揃っている。</li><li>・茅葺き、蔵がある。</li><li>・屋号が面白い。</li></ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能「田植え踊り」を保育園、小学校で練習している。</li> <li>・地区運動会、健康ゲーム交流会、文化祭等楽しい行事が多い。</li> </ul>
大沢はどんな地域？	<p>短所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員に負荷が多い。</li> <li>・行事が多いので大変。</li> <li>・ネットワークが固定化されているかもしれない。</li> <li>・新住民は、自分の立ち位置が見えない。 (見えない壁)</li> <li>・娯楽の場が少ない。</li> <li>・集合住宅住民と接点がない、わからない。</li> <li>・ちょっとした店が近くにない。</li> <li>・子どもが少ない。</li> <li>・独身が増えている、農業等跡継ぎが少なく不安。</li> <li>・車がないと移動困難である。</li> <li>・企業・会社(働く場)が少ない。</li> </ul>
なぜ、この地に住むの？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代々住んでいる。</li> <li>・生まれたときからここしか知らないので比較できない。</li> <li>・家業が農業でそれを継いだから。</li> <li>・家を守るため。</li> <li>・環境(自然、生活)が良く、住みやすいと思い移住してきた。</li> </ul>
これからの5年、どのように地域に関わる？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にとって住みやすい地域、これからも協力していきたい。</li> <li>・できること、得意を生かしていきたい。</li> <li>・楽しく思えるよう、やり方を考えたい。</li> <li>・高齢者担当として頑張る。</li> <li>・これまで通り変わらずに。</li> </ul>
今後お取り組み、目指す姿は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マップや福祉見守りマップづくりをしていく。</li> <li>・担い手を育てていく。</li> <li>・若い人たちに参加してもらう工夫、意見を聞く機会をもつ。</li> <li>・役員の任期、持ち回り等の仕組みを検討していく。</li> </ul>

## 令和3年度 第2回大沢自治会ワークショップのまとめ

- 日 時：令和3年11月10日（水） 19：30～21：00
- 参加者：19名
- 会 場：大沢集落センター
- 協 力：特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21

### 1. 開催概要

第2回ワークショップでは、今後の「市民主体の地域づくり活動の方向を展望」するために、改めて地域を見直し、地域に対する参加者それぞれの思い、考えを共有し、確認するため話し合いを行いました。

### 2. 各班の意見

今回、3班に分かれて、個人ワークを元に各グループで意見交換を行いました。その中で出された意見は以下となっています。共通項も多かったため、まとめて記載しています。

（テーマ1）「自分たちの地域の未来をデザインする」

目指す姿は？ 課題は？ 何をする??

項目	内容
目指す姿 （テーマ）	『高齢者にも誰にでも“優しい地域”』 『地域の宝を再発見！』 『にぎやか・つながり・住民交流がある地域』
目指す姿の 実現に対する 課題は？	・立地条件もよく、交通の便も良いが・・・ バス路線は主要道路のみで、沿線住民以外は移動手段が少ない。 道路の拡幅が進まない。 『賑わい』がない。 住民が地域を知らない。 ・若い世代の参加が少ない 巻き込むためにイベントしてきたが、なかなか結果に結びつかない。 参加のハードルが高い。（個人参加などしにくい。） 役員の担い手が見つかりにくい。

<p>目指す姿を実現するために何をしますか？</p>	<p>○大沢スノーバスターズ立ち上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪、現在はできているが、将来は不安もある。</li> <li>⇒地域の児童、生徒も含めた助け合いの仕組みをつくる。</li> </ul> <p>○役員の仕事、役割の勉強会を含めた次世代への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割毎の仕事の洗い出し、マニュアル作成での負担軽減。</li> <li>・お互いに相談できる（地域課題も含めて）仕組みづくり。</li> <li>・S55年に自治会規約を制定⇒住民理解を深める工夫、取り組みをしていく。</li> <li>・いきなりではなく、副部長として経験を積んでもらう</li> <li>→それから部長に</li> </ul> <p>○若い人の取り込みを進めること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康・ゲーム交流会は、年齢制限がなく、誰でも参加できる。</li> <li>（子どもたち・親子で参加、男性陣がおひるごはん当番、麻雀・カルタなど。）</li> <li>・「教養部」が中心となって消防団員・若手の勧誘を行っている。</li> <li>・親子参加が多い『花壇づくり』など、定着している活動を継続する。</li> <li>・SNS等若い人へアピールする情報発信。</li> </ul> <p>○『賑わいの場』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅、産直のような場をつくる。</li> <li>地域の宝の紹介、産物の販売など。</li> <li>常設でなく、1回/月からでもやってみたい。</li> <li>・団地等の新住民と交流するイベント</li> </ul>
----------------------------	---

## 令和3年度 第3回大沢自治会ワークショップのまとめ

- 日 時：令和4年1月21日（金） 19:30~20:45
- 参加者：16名
- 会 場：大沢集落センター
- 協 力：特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21

### 1. 開催概要

第3回ワークショップでは、前回に引き続き、キャッチコピー（目指す姿のテーマ）に沿って、具体的にどう活動するのか、優先順位等も考えながら意見を出し合いました。

テーマ1	「未来に向けた具体的な行動を！」
------	------------------

### 2. 各班の意見

今回も、3班に分かれて、地域の目指す姿を思い描きながら、その実現に向けて取り組んでいくことを中心に各グループで意見交換を行いました。その中で出された意見は以下となっています。共通項も多かったので、まとめて記載しています。

(テーマ1) 「自分たちの地域の未来をデザインする」  
目指す姿は？ 課題は？ 何をする??

項目	内容
目指す姿 (テーマ)	<ul style="list-style-type: none"><li>●『誰にでも“優しい地域”（と自慢できる地域）』</li><li>●『地域の宝を再発見！』</li><li>●『にぎやか・つながり・住民交流がある地域』</li></ul>
目指す姿の 実現に対する 課題は？	<ul style="list-style-type: none"><li>●もう少し利用しやすい交通手段の導入を検討する。 ⇒オンデマンド交通・有償ボランティア輸送サービス ・福祉バス等</li><li>●役員等の担い手確保。 参加のハードルが高い。（個人参加などしにくい。） 役員の担い手が見つかりにくい。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活支援の必要性・・・ 個別住宅の雪かき、草刈りもできなくなっている世帯の増加。 放課後の子供の居場所や子育て支援の仕組みが地域には少ない。 ⇒子育て世帯の息抜き（？）</li> <li>●遊休農地を含む農地の活用 ⇒借り手のための農地利用。</li> <li>●地域内の様々な組織の連携の仕組みづくり</li> </ul>
<p>目指す姿を実現するために何をする？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住民交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>○文化祭・ゲーム交流会【継続】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームの種目の検討し、参加を促す。カルタ・マーじゃん・トランプに加えて体を動かすもの。（野球・ピンポンなどはどうか。）</li> <li>・子どもといっしょに参加したいと思うイベントとすることが大切である。</li> </ul> </li> <li>○運動会【継続】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・種目を検討する。</li> <li>・1度、種目アンケートを取ってみてはどうか？</li> </ul> </li> <li>○花壇づくり【継続】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は植栽作業だけでなく、花壇の管理も子どもたちに当番の協力をお願いしたらどうか。【新規】</li> </ul> </li> <li>○廃品回収【継続】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催手法の検討 (時期、主催（子供会？ 婦人会？）等)</li> </ul> </li> <li>○休止中の事業の復活について検討の余地あり</li> </ul> </li> <li>●担い手確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>○情報発信【継続+α】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人に、自治会の活動や役割を知ってもらうため、情報発信に努める。</li> <li>・地域の歴史がわかるカルタづくり。</li> <li>・SNS 利用促進の勉強会。 ⇒若い世代に届く情報を</li> <li>・役員就任の仕組み、ルールづくり。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●生活支援の必要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>○中学生スノーバスターズ【新規】</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回でも（まず「やってみる」ことからスタートする）。</li> <li>・「どこを除雪するのか？」のエリア検討も必要である。 ※除雪機貸し出し制度あり</li> <li>○新しい地域交通の仕組みの検討を始める（今より早い時はなし） <ul style="list-style-type: none"> <li>・有償ボランティア輸送サービス等先進事例調査も・・・</li> </ul> </li> <li>○子育て世代への支援として（預かり含む）公民館開放 ⇒誰が？ いつ？ まずは地域のニーズを知ることから始める。</li> <li>●連携の仕組みづくりにむけて</li> <li>○地域住民の得意を知る。（達人？） お互いに教え合う関わり。 「好き」で集まる活動を進める。</li> <li>○時間を決めて話し合うことに慣れていく。 例：定例会の後半60分とか？ 隔月とか？</li> <li>○福祉マップや災害マップの作成 ⇒お互い様の地域へむけて。</li> </ul>
--	---

## 令和3年度 第1回牧野林中央自治会ワークショップのまとめ

- 日時：令和3年9月19日（日） 10:00~12:00
- 参加者：11名
- 会場：せいほく集会所
- 協力：特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21

### 1. 開催概要

第1回ワークショップでは、今後の「市民主体の地域づくり活動の方向を展望」するために、改めて地域を見直し、地域に対する参加者それぞれの思い、考えを共有し、確認するため話し合いを行いました。

#### ●第1回ワークショップでのテーマ

テーマ1	「自分たちの地域を知る」
------	--------------

### 2. 各班の意見

今回、2班に分かれて、個人ワークを元に各グループで意見交換を行いました。その中で出された意見は以下となっています。共通項も多かったので、まとめて記載しています。

#### (テーマ1) 「自分たちの地域を知る」

好き、嫌い、地域資源は？ そもそもどんな地域？

項目	内容
誰かに説明する としたらどんな 地域か？	長所 <ul style="list-style-type: none"><li>・災害が少ない。（水害、地震・河川敷整備済）</li><li>・商業施設が多く、買い物に不自由しない。 （生協等各スーパー）</li><li>・産婦人科以外、医療機関が整っている。</li><li>・学校（幼稚園、小学校、中学校が近くにある。）</li><li>・高校も自転車通学可能範囲内に3つある。 （盛北、中央、盛岡大付属）</li><li>・県交通滝沢営業所もあり、交通の便が良い。</li><li>・近くで用事を済ませることができるので、高齢者等移動困難者含）にとってとても利便性が高い。</li><li>・しずかで治安が良い。飲み屋さんがない。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 盛岡が近い（ベッドタウン）。/滝沢市であるが盛岡に近い環境である。</li> <li>• 新しい人と前から住んでいる人がいる。住みやすい。</li> <li>• よその人を受け入れる地域。人が優しい。</li> <li>• まとまりが良い。</li> <li>• スクールガードをしていて子どもたちから声をかけてもらえると嬉しい。</li> <li>• 岩手山がきれい。（展望がよい。）</li> <li>• 市のごみ焼却施設が優れている。</li> </ul>
<p>誰かに説明する としたらどんな 地域か？</p>	<p>短所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 飲み屋さんがない（コミュニケーションを取れる場所が少ない）こと。</li> <li>• 自治会に若い世代の参加が少ない。</li> <li>• 昔から暮らす人と新しく入ってきた人との共存に時間がかかる。</li> <li>• 郵便局が遠い。（昔は農協で「用」が足りていた。）</li> <li>• 斎場がない。</li> <li>• （バスの便も少し良くなったが）車は必要。（大型のショッピングモールがあれば完璧か。）</li> <li>• 仕事場が少ない。</li> <li>• 大型車両の交通量が多い。（気を付ける。スクールガードにも立っている。）</li> <li>• 娯楽の場が少ない。</li> </ul>
<p>なぜ、この地に 住むの？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 代々住んでいる。</li> <li>• 県内出身者で、盛岡周辺での仕事のため。</li> <li>• 山田町から震災後に移住。</li> </ul>
<p>地域をどう思う？ （好き、嫌い、展 望は？他）</p>	<p>好きなどの肯定的な点数（5点、4点）が多かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 場所的には住みやすい環境であるが、まだ良くなりそうである。</li> <li>• ただ好き。近所付き合いにも恵まれていると感じる。</li> <li>• ゴミ捨てもしやすい。</li> </ul> <p>嫌いというか、課題感として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新住民と以前から住んでいる住民の意識（地域に対する？）に差がある。（今回のWS等にも若い世代の参加が少ない。）（メンバー固定化）</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市役所のビジョンと地域のギャップ (住民の意識は村のまま。)</li> <li>• 若い世代が住み始めいるが、関わりが少ない。</li> <li>• 進学や就職等転出した人が戻って来ることが少ない。</li> <li>• 暮らせていれば良いって意識の人が多気がする。</li> </ul> <p>これからの展望として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• (工夫すれば) もう少し地域内のコミュニケーションがとれそう。</li> <li>• 期待はしているが…。</li> </ul>
<p>これからの5年、 どのように地域に 関わる？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• (何かしら) 地域に恩返しをしていく。</li> <li>• 要望を含めて声を上げていく。</li> <li>• 若い世代への声掛けをする。</li> <li>• 転入者が地域に馴染みやすいようつないでいく。</li> <li>• 自分からコミュニケーションをとっていく。</li> </ul>

## 令和3年度 第2回牧野林中央自治会ワークショップのまとめ

- 日 時：令和3年10月17（日） 10：00～12：00
- 参加者：10名
- 会 場：せいほく集会所
- 協 力：特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21

### 1. 開催概要

第2回ワークショップでは、今後の「市民主体の地域づくり活動の方向を展望」するために、自分たちの地域の将来像を描き、その実現に向けて解消すべき課題の掘り起こしについて話し合いを行いました。

### 2. 各班の意見

今回、2班に分かれて、個人ワークを元に各グループで意見交換を行いました。その中で出された意見は以下となっています。共通項も多かったので、まとめて記載しています。

(テーマ1) 「自分たちの地域の未来をデザインする」

目指す姿は？ 課題は？ 何をする??

項目	内容
目指す姿 (テーマ)	『暮らしやすい地域』 継続して『安心・安全なまちづくり』
目指す姿の 実現に対する 課題は？ 具体的に どうする？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民交流/地域の行事の運営               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒新住民が増えているので交流機会を増やす 新旧住民の交流が促進される行事開催。 世代交流による活性化、伝統や歴史等の未来への継承活動。</li> <li>集会所の活用促進。</li> <li>⇒サロンや気軽に集まる場として活用。 (↑誰が企画？ 中心?)</li> <li>⇒子供向け行事で人を呼ぶ。 住民が地域を知る機会をつくる。</li> <li>⇒住民間で話し合う場作り。若い世代との意見交換が大事。</li> <li>⇒あいさつ運動(?) 声をかけやすい雰囲気づくり。</li> <li>⇒参加しやすい仕組みとして、マニュアルをつくる。</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生活環境（見守り）の整備で住みやすい地域。 行政や関係機関と連携し、困り事相談に対応できる仕組みづくり。</li> <li>環境美化への取組みをさらに強化。（ゴミ、街路樹等）ルールづくり。</li> <li>空き家についても考えてかなければ・・・。 （行政との連携が必要か。）</li> <li>民生委員との連携を図って高齢者の見守りをしていく。</li> <li>スクールガードの新規メンバーがほしい。</li> <li>病院があると安心する。 （移動困難者が増えるので近くにあれば）</li> </ul>
<p>目指す姿の実現に対する課題は？ 具体的に どうする？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 若い世代へのアピール、自治会役員の担い手確保へつなげる。 IT等活用した広報のため若い世代から教えてもらう。 →きっかけづくり。</li> <li>行事運営マニュアルを作り、引き継ぎの簡素化を図る。 「青年部」をつくる。（出る杭をうたないこと。）</li> <li>• さらなる若者定住に向けて。 若者定住施策を市に要望する。 ベッドタウンではなく、市内に働く場があればいいと思う。 市内に大学が2つ。連携していく工夫が必要。</li> <li>• その他 回覧配布しているが、反応がわからない。 ⇒情報発信の仕方を考えていくことが大事かも。</li> </ul>

## 令和3年度 第3回牧野林中央自治会ワークショップのまとめ

- 日 時：令和3年11月14日（日） 10：00～11：30
- 参加者：10名
- 会 場：せいほく集会所
- 協 力：特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21

### 1. 開催概要

第3回ワークショップでは、前回に引き続き、キャッチコピー（目指す姿のテーマ）に沿って、具体的にどう活動するのか、優先順位等も考えながら意見を出し合いました。

テーマ1	「未来に向けた具体的な行動を！」
------	------------------

### 2. 各班の意見

今回も、3班に分かれて、地域の目指す姿を思い描きながら、その実現に向けて取り組んでいくことを中心に各グループで意見交換を行いました。その中で出された意見は以下となっています。共通項も多かったので、まとめて記載しています。

（テーマ1）「未来に向けた具体的な行動を！」

目指す姿は？ 課題は？ 何をする??

項目	Aグループ	Bグループ
目指す姿 (テーマ1)	「暮らしやすい地域」 継続して 「安心・安全なまちづくり」 「住民満足度の高いまち」に (市の自慢をしたい)	目指す姿 世界一の平和な自治会 ・戦争の起こらない世の中であって欲しい。 ・ <u>隣同士ニコニコしながら生活できるように！</u> （まずは身近な範囲で平和を体現する。）

項目	Aグループ	Bグループ
<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">目指す姿の実現に向けての活動をしていくか？</p>	<p>&lt;優先度1&gt;</p> <p><input type="checkbox"/> 市中心市街地の形成（行政が中心となるが、市全体として住民も考え取り組む必要があるもの。）</p> <p>&lt;優先度2&gt;</p> <p><input type="checkbox"/> 情報発信、コミュニケーション OSNS</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会（若い世代が指導、いっしょに取り組む）</li> <li>・住民の要望等収集（双方向）</li> <li>・若い世代へのアプローチの一つとなる。</li> </ul> <p>・「回覧」の量が厚過ぎて、郵便受けに入らないこともある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧にQPコード印刷し、若い世代に見てもらう。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 回覧（行政からの連絡+地区のイベント案内等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日、15日（2回）/月</li> <li>・市により吟味して、少量になるよう取り組んでもらいたい（紙がもったいない、経費節減）</li> <li>・行政のデジタル情報があること自体の周知も必要である。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 掲示板がない⇒現在はゴミ集積所に掲示している（多くの人に見てもらえるから） （↑ 市に設置要望済、回答待ち）</p> <p><input type="checkbox"/> あいさつをしよう</p>	<p><input type="checkbox"/> 行政機関と連携</p> <p><input type="checkbox"/> 働く場づくり（誘致、起業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国や県の所有地を活用して企業を誘致する。</li> <li>・市内で若い人が働ける場づくり。</li> <li>・人口6万人を目指す滝沢なので、市内で受けとめる働く場づくりが必要。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 個人情報の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いの状況を変えたい。</li> <li>・今は本人の同意があれば対応できる。</li> <li>・取り扱いの知識の共通化を図りたい。例えば自治会規約に入れる。</li> <li>・市議会で条例に入れる。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 人と人がつながる仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全な街づくり「仕組みづくり」</li> <li>・地区内のつながりづくり / となり近所の連携 / 小学校区の広い連携 / 専門家によるアドバイス</li> <li>・「隣近所は家族です」という気持ちで地域と接する住民をふやす。</li> <li>・今まで以上の交通安全の普及と啓発、実施に取り組む。</li> </ul>

項目	Aグループ	Bグループ
	<p>＜優先度3＞</p> <p><input type="checkbox"/> 「青年部」設置検討 出る杭は打たない。飲み会も大事。男女とも、青年！であると思う人が参加する。 コミュニケーションの場づくり</p> <p>＜その他＞</p> <p><input type="checkbox"/> 以前、市アンケートがあったが、3,000世帯であった。</p> <p><input type="checkbox"/> 元村地区の人口は28%/市であるが、政治家（議員）が少ない。</p> <p><input type="checkbox"/> 主要道路の動線が不便（大量の交通量である。）</p> <p>市には年度も要望済み（→県土木へ）</p> <p><input type="checkbox"/> 道路が狭い。←拡幅が必要。 市には今年度も要望済み（→県土木へ）</p> <p>標識等（工夫）設置</p> <p>経過・進捗を継続して確認する</p> <p><input type="checkbox"/> やはり総合病院がほしい。</p> <p><input type="checkbox"/> 公園に時計がない。←寄贈してくれそうなロータリークラブ、ライオンズクラブの「つて」はないか？</p>	<p><input type="checkbox"/> まちづくりの実施体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体で考えたアイデアは誰がやるか決まらないと進まない。<u>実施体制の構築。</u></li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 学校（小～大）で地域を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・極端な話し、滝沢で育った人が転出しなくてもよい自治会、地域にしていく。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育で第3次産業を教えられる仕組み、教育内容も加味してほしい。</li> <li>・地区内の各種活動に参画する人を確保するために、地区内に住む人を増やす。選ばれる地区にする。</li> <li>・子どもに対して、地域を知る、教える機会が必要になる。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> ご近所連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・向う3軒両隣の連携で支え合う。</li> <li>・ご近所で連携した高齢世帯の巡回や見守り、将来不安に対する相談フォローを行う。</li> <li>・回覧板が多く住民の目に触れる工夫。家庭内の話のネタになる誌面づくり。/工夫する方法を学ぶ。/行政的な情報提供だけじゃない内容も入れる。</li> </ul>

項目	Aグループ	Bグループ
目指す姿の実現に向けてどう活動をしていくか？		<p>□自分のやりたいことに取り組む場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• これからも高齢者が出るので高齢者・若い世代のつながりづくりに、芸術・文化・スポーツを活かす。</li> <li>• 集会所の利用を増やす。</li> </ul> <p>自分たち（高齢世代）もパソコンやスマホを習って使いたい。自治会運営にも役立てる。</p> <p>趣味の教室で利用を増やす。例えば先週開催したそば打ち教室のような機会をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 顔を知り合う機会づくり</li> </ul> <p>お互いを知らないとつながる仕組みも生まれない。</p> <p>□スポーツで市を盛り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 滝沢市運動公園の有効利用</li> </ul> <p>今の運動公園の利用が日頃の状況を見ると多くないように思うので利用の促進が必要になる。今ある運動公園に加え、牧野林周辺にもつくり周辺住民や大学生の利用も呼び込める。</p> <p>スポーツに親しむ人づくり。世界で活躍する人材育成をしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 滝沢から世界に羽ばたくスポーツ選手の育成に取り組む。10年計画くらいの期間で考えたい。</li> </ul>